

園だより 6月



*** 園長先生からのメッセージ ***

平成23年3月の東日本大震災から1年以上が経ちました。この冬は寒さが厳しく、そのためか、今年の桜は開花が遅く、入園式に間に合うようにと植えたチューリップも固いつぼみのままでした。そして、つい先だっては関東一円に竜巻の被害が出ました。その時飛び散ったガラスが散乱する田んぼでは、今年の田植えを見送ったとか…。震災以来、このような天変地異に少々敏感になっているのかもしれませんが、それにしても何か変です。

気象庁が発表した予報では、西日本は8月を中心に高温となるようです。厳しい電力不足が予想されるなかで、この猛暑をいかにしてエコに過ごすか、熱中症対策は？など、子どもたちと一緒に考えて、実行に移したいものです。

一方では、自動車等の暴走による交通事故が相次いでいます。登校中の児童等の列に車が突っ込み死傷者も出るなど、痛ましい事故が続いています。4月末には、文部科学大臣から「学校の通学路の安全に関する緊急メッセージ」が出され、深刻な状況を反映しています。また、学校・家庭・地域における交通安全教育を徹底するということという通達も、例年以上に届いています。幼稚園関係では、特に、退園時の事故発生率の多さに関する内容があげられています。本園でも、年度初当初より、保護者の皆様へたびたびお願いをしているところです。

一つのものに注意が向くと、他のことが目に入らなくなるとか、模倣性が強く、大人や友だちのマネをするとか、状況を正確に判断することが難しいなど、子どもの交通行動の特性を理解し、自他の生命を尊重するという基本に立ち戻り、日々の行動を見つめ直しましょう。

♪・♪・♪・♪・♪ お知らせ ♪・♪・♪・♪・♪

○梅雨時期の過ごし方を楽しみましょう。

6月となれば梅雨時期に入ります。大人にとっては憂鬱な季節になりますが、子どもたちにとってはそんなこと関係ないようです。傘をさして長靴をはいて、水たまりを歩く楽しさ！雨上がりの水滴を眺める面白さ！土のどろどろの感触を満喫する充実感！森からやってくる湿ったひんやりした空気の肌感覚と臭覚の驚き！そして、これらを研ぎ澄ます面白さ！…この時期ならではのたくさんの驚きや気づき、学びがあります。幼児だからこそしっかり五感を使って梅雨時期を堪能させたいと思います。子ども心を忘れそうな私たち大人も子どもたちに負けずと楽しんでみましょう。

○天候に関する警報発令の場合

梅雨の時期に入り、大雨洪水警報等が発令されることもあろうかと思えます。朝、7時の時点で警報が発令されている場合には、休園となります。また、保育中に警報が発令された場合には、すぐにお迎えに来ていただくようになります。いずれの場合も緊急連絡メール（又は電話）で流しますので、警報が発令されそうな日には、確認をお願いします。